

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	IgA 腎症における eGFR slope および蛋白尿減少率と腎複合エンドポイントとの関連	
1. 研究の目的と方法	IgA 腎症は、蛋白尿や血尿を特徴とする腎臓の病気であり、将来的に腎機能が低下するリスクがあります。本研究では、IgA 腎症の患者さんにおいて、診断後の経過中にみられる腎機能の変化（推定糸球体濾過量：eGFR の傾き、eGFR slope）および蛋白尿の減少率と、その後の腎予後（腎機能の悪化や透析導入などの腎複合エンドポイント）との関連を調べることを目的としています。 これにより、eGFR slope や蛋白尿減少率が腎予後を予測するための有用な指標となるかを明らかにし、今後の診療や治療方針の最適化に役立てることを目指します。 診療記録から eGFR 値などのデータ、CT 画像や腎病理組織画像とから腎臓の形態にかかわるデータを収集し、これらの比較検討を行う方法を取ります。	
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2027 年 3 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。	
3. 対象となる方等	2007 年 1 月 1 日～2018 年 3 月 31 日の間に、附属病院で腎生検と CT 検査を受けられた 18 歳以上の IgA 腎症の患者さんで、先行研究「腎皮質体積と糸球体密度から推算したネフロン数と各種腎疾患における臨床因子・腎予後の検討倫理委員会承認番号 30-385(9406)」に登録されている方。	
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。
	(3) 情報の種類	診断名、性別、年齢、身体所見、検査結果（血液・尿検査、画像検査、腎生検病理画像）
	(4) 情報の取得の方法	先行研究（研究No.：30-385）で取得したデータを二次利用いたします。
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3) の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。	
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名 東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科学講座
		氏名 坪井 伸夫
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	春原 浩太郎

	(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。
6. 試料・情報を他 機関とやり取り することについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 情報の利用開始予定日：2025 年 7 月頃～	
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科学講座 研究責任者：准教授 坪井 伸夫（つぼい のぶお） 電話番号：(03) 3433-1111 [内線 3221] 対応時間：平日 9：00 ～ 16：00	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。